

明石照男 (通称) 銀行家。明治十四年二月二十日岡山縣和氣郡吉永生町、
 昭和二年一月九月二十九日没(一八八一—一九五五)。第一高等學校(経)、
 明治二十九年東京帝國大學法科大學卒。歐米留學後、四十四年第一銀
 行入行。累進して昭和十年頭取、十八年三井銀行と合併した帝國銀行
 取締役會長となる。この間東京銀行集會所會長、日本銀行參與理事等
 を務む。二十一年貴族院議員。

著書に、『明治銀行史』(昭和十年八月)二十日改造社「現代金融經濟全
 集」)、『大正銀行史概観』(昭和十二年七月十五日東京銀行集會所
 「銀行叢書」)、『時局百観』(合著・都新聞社編、昭和十四年十一
 月一日秋豐園出版部)、『青淵遊澤集——思想と三行』(編、昭和二十
 六年十月)二十五日遊澤青淵記念財團龍門社)、『二聖人の經濟道徳
 観』(編、昭和二十七年九月一日遊澤青淵記念財團龍門社)、『金融
 倫理』(昭和二十八年八月一日全國相互銀行協會「相銀パンフレッ
 ト」)等。

